

## ☆☆☆ 朝 礼 講 話 ☆☆☆

6月23日（月）

### 『心のコップ』

講話 2年担任 菅原 真希



私は、7年前の4月に、十四山東部小学校の先生になりました。東部小で初めて担任した3年生は、今、中学3年生になっています。

世界、日本には、たくさんの方がいます。そんな中、愛知県、弥富市、十四山、そして十四山東部小学校で出会うってすごいことだと思いませんか？先生も、たくさんの小学校の中から、十四山東部小学校の先生になったから、みんなと出会うことになったのです。すごいことだと思いませんか？

もちろん、どの先生達も同じです。



「出会った」ということは、「つながった」ということです。それも、この出会いは、先生としてみんなに出会ったのです。

でも、この出会いはいつまでも続く訳ではありません。小学校では、毎年4月には新しい1年生が入学し、3月に6年生が卒業します。ずっとは一緒にいられません。みんなは成長し、いつか卒業していきます。

しかし、先生としてみんなと出会ったことは、なくなりません。だから、一緒にいられる今、たくさんつながっていたいと思っています。

私は今、十四山東部小学校の先生として、2年生の担任の先生として、みんなに会うために学校へ来ています。先生が心がけていることを一つ、伝えます。《心のコップを上向きにすること》です。コップに飲み物をたくさん入れるためには、まっすぐにしますよね。下向きにしていたり、ななめにしたりしては、いっぱい入りませんね。



みんなには、得意なことや好きな勉強や遊びがありますね。きっとその時は、コップがまっすぐなのだと思います。では、苦手なことやめんどくさいことの時はどうでしょう。下向きだったり、ななめだったりしているのではないですか？



お話の途中ですが、静かに立ちましょう。気を付け。背筋を伸ばす、おしりとおしりをくっつける、へその下に力をこめる。先生の顔が見えますか？《まっすぐに 人の話を聞こうすること》が《心のコップを上向きにすること》です。みんなそれぞれの『心のコップ』を必ず持っています。みんながこれから成長していくために、とても大切なことだと私は思います。

これからも、もっともっとみんなの『心のコップ』の中をいっぱいにしてください。